

# 第5回学園運営協議会

(令和8年3月19日)

## 熟議 ～子供達の豊かな学びのために～

### 【説明】

学校・家庭・地域の連携が重要とされる中、教員の多忙さにより子供と関わる時間の確保が課題となっている。長時間働く教員も多く、社会全体で支え、専門性を生かしながら教員をサポートする体制が求められる。そのため、学校・家庭・地域・教育委員会が協力することが重要である。業務効率化のアイデアを話し合っていたきたい。



川口教頭

### 【各グループでの熟議】

子供達が「楽しい」と感じる教育に時間を充てることを重視し、そのために生成AIの活用や地域の専門人材を招いた研修が必要である。また、業務の再分配を進め、教員が担う必要のない業務は他に任せることも考える。さらに、教員一人ひとりの時間意識を高めることが、働き方や業務改善につながると考える。



河東中

子どもと向き合う時間を確保するために、教員の意識改革が重要とされている。全てを抱え込まず、教員でなければできない業務かを見極め、委ねられるものは他に任せることが必要である。また、地域や保護者の力を積極的に活用することで、教員の負担軽減と教育の充実を図ることができる。



河東西小

AIの活用を進めるとともに、人とのつながりを大切にしていく必要がある。また、PTA業務の効率化についても改善の必要性が挙げられた。現在行われている支援や取組は今後も継続していくことが望まれている。



河東小

子供と向き合う時間を確保するため、業務の効率化と分業化が必要である。専科教員の導入や得意分野を生かした役割分担により専門性を高めることが重要である。教材のデジタル化・アーカイブ化を進め、共有・活用することで、指導の質の向上と効率化を図ることができる。生成AIを活用する際は、情報の真偽を見極める力が不可欠であり、活用事例の蓄積も重要である。PTAや地域人材の活用、協力体制の構築がこれからも学校運営にとって重要である。



長澤先生